

平成 21 年 8 月 31 日

各 位

不動産投資信託証券発行者名
東京都千代田区神田神保町一丁目 14 番地 1
日本レジデンシャル投資法人
代表者名 執行役員 西 村 賢
(コード番号：8962)

資産運用会社名
東京都千代田区神田神保町一丁目 14 番地 1
パシフィックレジデンシャル株式会社
代表者名 代表取締役社長 高 野 剛

問合せ先 取締役 平 山 滋 樹
(TEL：03-3518-0480)

「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

日本レジデンシャル投資法人（以下、「本投資法人」といいます。）は、本日付で関東財務局長に提出した平成 21 年 5 月期の有価証券報告書において、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

本投資法人のスポンサー企業であり、資産運用会社であるパシフィックレジデンシャル株式会社（以下、「本資産運用会社」といいます。）の主要株主である更生会社パシフィックホールディングス株式会社（以下、「PHI」といいます。）は、平成 21 年 1 月 27 日付で公表した平成 20 年 11 月期決算において債務超過となり、その後同年 3 月 10 日に東京地方裁判所に対し会社更生手続開始の申立てを行い、同年 3 月 31 日付で同裁判所より会社更生手続開始決定を受けました。

PHI 固有の問題は本投資法人の運営に直接支障をきたすものではありませんが、PHI の上述の事態に伴い、本投資法人の今後の金融機関等からの資金調達に与える影響が懸念される状況にありました。かかる資金繰り上の懸念事項が存在していたことから、本投資法人は平成 20 年 11 月期有価証券報告書及び平成 21 年 5 月期決算短信において、継続企業の前提に関する注記を記載しておりました。

本投資法人及び本資産運用会社は、本投資法人の長期的に安定した財務基盤・成長戦略を築く上で、スポンサー会社の存在は必要であるとの認識の下、外部のアドバイザーによるサポートを受けながら、PHI に代わる新スポンサー会社の選定を進めてまいりました。

その結果、平成 21 年 8 月 6 日付で、アドバンス・レジデンス投資法人（以下、「ADR」といいます。）の資産運用会社であるADインベストメント・マネジメント株式会社（以下、「ADIM」といいます。）の主要株主である伊藤忠商事株式会社（以下、「伊藤忠」といいます。）及びADIMが新スポンサー会社候補に選定されました。

これに伴い、PHI 及びADIMは、同日付で、PHI の有する本資産運用会社の発行済株式 6,000 株（持株比率 93.8%）の全てをPHI がADIMに譲り渡し、ADIMがこれを買受けることを内容とする株式譲渡契約を締結いたしました。平成 21 年 9 月に上記株式譲渡の実行を予定しています。これにより、本資産運用会社は、ADIMの子会社になる予定です。

また、本投資法人とADRは、平成 21 年 8 月 6 日付で両者が合併すること等について基本合意書を

締結いたしました。本投資法人とADRは、かかる基本合意書に基づき、平成21年9月に合併契約の締結を予定していますが、合併効力発生日については現時点で未確定です。なお、合併後の投資法人は、伊藤忠のサポートを受ける方針となっています。

さらに、本資産運用会社とADIMは、平成21年8月6日付で資産運用会社の合併に関する基本合意書を締結し、今後、本投資法人とADRの合併契約の締結と同日に合併契約書を締結することを予定しています。

加えて、本投資法人が、平成21年9月11日に6,000百万円、平成21年10月23日に12,000百万円の投資法人債の償還期限を迎えるにあたり、償還資金の確保が円滑に行われない懸念がありましたが、平成21年8月27日付「資金の借入れに関するお知らせ」にて公表しているとおり、本投資法人はこれから投資法人債の償還資金に充てることを目的とした金銭消費貸借契約を締結いたしました。

以上の結果、平成21年5月期末には存在していた継続企業の前提に関する重要な不確実性は解消されたと判断したため、当該注記の記載を解消いたしました。

以 上

※ 本資料の配布先：兜倶楽部、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会

※ 本投資法人のホームページアドレス <http://www.nric.co.jp>